

## 建築物エネルギー消費性能基準等における一次エネルギー消費量算定方法の変更について

平成 28 年 4 月 1 日

第四章「暖冷房設備」第三節「ルームエアコンディショナー」の一部を下記のように変更します。

変更前 Ver.02（住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム Ver.01.15）	変更後 Ver.03（エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版） Ver.2.0）																		
<p>第三節 ルームエアコンディショナー (略)</p> <p>3. 用語の定義 <u>(略) (第 3 項全文)</u></p> <p>4. 記号及び単位 4.1 記号 <u>この計算で用いる記号及び単位は表 4.3.1 による。</u></p> <p style="text-align: center;">表 4.3.1 記号及び単位</p> <table border="1" data-bbox="67 1241 1111 1353"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>意味</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><math>A_{HCZ}</math></td> <td>暖冷房区画の床面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	記号	意味	単位	$A_{HCZ}$	暖冷房区画の床面積	m <sup>2</sup>	(略)	(略)	(略)	<p>第三節 ルームエアコンディショナー (略)</p> <p>3. 用語の定義 <u>第一章の定義を適用する。</u></p> <p>4. 記号及び単位 4.1 記号 <u>本計算で用いる記号及び単位は表 1 による。</u></p> <p style="text-align: center;">表 1 記号及び単位</p> <table border="1" data-bbox="1146 1241 2190 1353"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>意味</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><math>A_{HCZ}</math></td> <td>暖冷房区画の床面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td>(略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	記号	意味	単位	$A_{HCZ}$	暖冷房区画の床面積	m <sup>2</sup>	(略)	(略)	(略)
記号	意味	単位																	
$A_{HCZ}$	暖冷房区画の床面積	m <sup>2</sup>																	
(略)	(略)	(略)																	
記号	意味	単位																	
$A_{HCZ}$	暖冷房区画の床面積	m <sup>2</sup>																	
(略)	(略)	(略)																	

	<u>定格消費電力</u>	<u>W</u>
$q_{max}$	最大能力	W
$q_{rtd}$	定格能力	<u>MJ/h</u>
(略)	(略)	(略)

4.2 添え字

この計算で用いる添え字は表 4.3.2 による

表 4.3.2 添え字

(表 4.3.2 略)

(以下、表番号の修正については省略する)

(略)

付録 A 機器の性能を表す仕様の決定方法

(追加)

(追加)

(表 A.1 追加)

	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>
$q_{max}$	最大能力	W
$q_{rtd}$	定格能力	<u>W</u>
(略)	(略)	(略)

4.2 添え字

本計算で用いる添え字は表 2 による

表 2 添え字

(表 2 略)

(以下、表番号の修正については省略する)

(略)

付録 A 機器の性能を表す仕様の決定方法

本付録では、ルームエアコンディショナーにより暖冷房される暖冷房区画の床面積等から機器の性能を表す仕様を決定する方法を示す。

A.1 記号と単位

A.1.1 記号

本計算で用いる記号及び単位は表 A.1 による。

表 A.1 記号及び単位

<u>記号</u>	<u>意味</u>	<u>単位</u>
$A_{ucz}$	暖冷房区画の床面積	$m^2$
$e_{rtd}$	定格エネルギー消費効率	-
$P_{rtd}$	定格消費電力	<u>W</u>
$q_{max}$	最大能力	<u>W</u>
$q_{rtd}$	定格能力	<u>MJ/h</u>

(追加)

(表 A.2 追加)

A.1 定格能力

(略)

定格冷房能力 $q_{rtd,c}$ は、ルームエアコンディショナーが設置される暖冷房区画の床面積 $A_{HCZ}$ に依存し、式(2)により表される。

$$q_{rtd,c} = 190.5 \times A_{HCZ} + 45.6 \quad (2)$$

ここで、

$A_{HCZ}$  : ルームエアコンディショナーにより暖冷房される暖冷房区画の床面積 (m<sup>2</sup>)

である。

(以下、節番号及び表番号の修正については省略する)

(付録 B・C 略)

A.1.2 添え字

本計算で用いる添え字は表 A.2 による

表 A.2 添え字

添え字	意味
$act$	当該住戸
$C$	冷房
$H$	暖房

A.2 定格能力

(略)

定格冷房能力 $q_{rtd,c}$ は、ルームエアコンディショナーが設置される暖冷房区画の床面積 $A_{HCZ}$ に依存し、式(2)により表される。ただし、定格冷房能力 $q_{rtd,c}$ が 5600 (W) を超える場合は、定格冷房能力 $q_{rtd,c}$ は 5600 (W) に等しいものとする。

$$q_{rtd,c} = 190.5 \times A_{HCZ} + 45.6 \quad (2)$$

ここで、

$A_{HCZ}$  : ルームエアコンディショナーにより暖冷房される暖冷房区画の床面積 (m<sup>2</sup>)

である。

(以下、節番号及び表番号の修正については省略する)

(付録 B・C 略)